

特別養護老人ホーム こうすれば 待つ人をなくせる

特別養護老人ホーム（特養）は市内で 7500 人も
の待機者をかかえる深刻な施設不足に見舞われて
います。日本共産党の宮本秀国市議は、10月
8日、市議会決算特別委員会でこの問題を取りあ
げ、解決のための建設的な提案をおこないました。

決算特で質問する宮本市議



宮本市議が建設的提案

決算議会

7千人を放置する市

宮本市議が、特養の入所待ちが現入所
者の2倍にもなっている現状を告発する
と、市側は、要介護4・5のうち自宅で
入所を待っている人程度の数（5000人
弱）の対応で十分であるかのような答弁
をしました。これでは7千人の待機者を
事実上放置することになります。

宮本市議は「病院で待っている人も3
カ月たてば追い出される」「老人保健施
設（病院と特養の中間的施設）で待つて
いる人も3カ月ごとの入所だ」と指摘。

さらに、要介護3でも「立ち上がりや
歩行が自力ではできず、排泄や入浴、衣
服の着脱に介助が要る人であり、放置で
きない」とのべ、これらの人々を無視す
る市の対応を厳しく批判しました。

入所待ちは30年…

宮本市議が市内の施設を訪問し、実態

無料法律・生活相談会

電話 (526) 2133 へ
まずはお気軽に

- 多重債務、生活保護、相続、離婚、訴訟、市政・県政や地域の問題など何でもどうぞ。
- 毎月各地域の公民館や党事務所などで実施しています。

「しん赤旗」を 読みませんか

- 日刊紙/月2900円
- 日曜版/月800円
- お申込は電話 (526) 2133

を聞くと、同施設では551人が入
所待っているが退所は年平均18人
かかってしまうことが明らかに。
この事実をつきつけられても、市
はなお対応は基本的にできていないと
いう答弁に終始しました。

8千万円の市負担で 特養は建設できる

宮本市議は国からの補助を活用
すれば8千万円の市負担で70人定
員の特養を建設できると提案。

そのさいネットワークになっているのが
土地代です。

市有地の無償貸与を

宮本市議は市有地を無償貸与し
建設を促進せよと迫り、そうすれば
雇用も増えると提起しましたが、市
側は拒否しました。

他市では当たり前

容器包装プラスチックの
分別をしている政令市

- 大阪市……5分別14区分
- 堺市……7分別11区分
- 神戸市……6分別11区分
- 岡山市……5分別17区分
- 広島市……8分別21区分
- 北九州市……9分別14区分

■福岡市……4分別9区分
容器包装プラスチックは分別せず燃焼



プラスチックを分別し ごみ減量・資源化すすめよ

決算議会

宮本市議が 市を追及

宮本市議は決算特で、市
のごみの資源化率が目標に
達しない問題を取りあげ、
プラスチック包装容器の分
別をおこない、ごみの減量
と資源化をすすめよと市を
ただしました。

市は「収集経費や二酸化
炭素が増える」として分別
を否定。宮本市議は「他の
政令市では分別は当たり前。
他市は温暖化を促進してい
るといふのか」と指摘し、
ごみを燃やすことに固執し
ている市の姿勢を批判しま
した。
市長は「研究したい」と
答弁しました。

環境・バリアフリー・防犯・住環境向上に役立ち、地域経済も活性化

住宅リフォーム助成 秋田県を視察

なんと25倍の経済効果

県が試算

「5%が税込になればおつりがくる」

宮本秀国市議は、「住宅リフォーム緊急支援事業」を始めた秋田県（同県の人口は福岡市の約7割）などを9月2～3日に視察。

同事業は当初12億円の予算でスタートしましたが申込が殺到し、予算オーバー。8億円の予算を追加して期間をのばす大人気ぶりです。

福岡市で始まった「住宅省エネ改修助成」は予算に対しわずか1割ほどの申請しかありません。違いはいったい…？



秋田県当局に質問する宮本市議

「対象工事の限定なし」が決定的なポイント

宮本市議が県当局や県会議員になぜこれほどまで人気なのかを尋ねると、「バリアフリーに限るとか、エコ目的に限るなどといった制限を設けないのがいい」という答えが返ってきました。

県内の業者団体にも聞き取りを行なうと、やはり対象工事に限定を設けないことと、書類などの申請が簡単なことをあげました。

宮本市議は、福岡市と同様に対象工事に限定を設けた札幌市も視察しましたが、やはり申請が少ない実態が浮き彫りになりました。



札幌市当局に質問する宮本市議

秋田県は宮本市議に対し、この事業で21億円を投入して512億円、実に25倍もの経済効果が見込まれることを紹介。

聞き取りの中で「この経済効果のうち5%が税込となればそれだけでおつりがきます」と答える関係者もいました。

この視察で、同制度によって環境・バリアフリー・防犯・住環境改善などあらゆる形で市民生活の向上が見込まれるうえ、景気浮揚も、税収効果も期待できる制度であることが明らかになりました。

あくまで拒否する現市長

日本共産党市議団は、秋田への視察をふまえ9月と10月の市議会で住宅リフォーム助成の実施を求めました。市長が始めた「住宅省エネ」制度はなぜ不人気なのかをたずねると「期間が短かったから」「申請者の条件が狭

かった」と苦しい言い訳。共産党市議は、限定をつけない秋田の例をしめすとともに、住宅をリフォームして長持ちさせることは環境にもいいことを明らかにしましたが、市長はあくまで導入を口にしませんでした。



秋田県 申込が殺到、予算を追加
福岡市 予算の1割しか申請なく

福岡外環状線道路^{国道202} 西月隈（博多区）～的場（南区） 開通まもなく

都心へのクルマの集中をなくすため、郊外で東西にクルマを流す道路として工事が進んでいた福岡外環状線。未完成の早良区野芥～西区福重4.1km、博多区西月隈～南区的場3.9kmは着々と工事が進んでいます。来年3月には工事が終わり、西月隈～福重が全面的に通れるようになります。

がんセンターなど通るバス 実験運転

また、福岡外環状線を走る新たなバス路線の社会実験が新年1～3月に行なわれます。

この路線には九州がんセンター病院など数十か所にのぼる大きな病院などが道路ぞいにあり、恒常的なバス路線ということが地域住民の中から要望として寄せられています。

宮本市議は社会実験の成功とバス交通の設置をめざしてがんばっています。



バス路線予定地を視察する宮本市議（写真中央）